

事務事業評価のABC判定基準について

1. 達成度

平成20年度実行計画で設定した、平成20年度の「活動量」「サービス量」に対する、事業の達成度を以下の基準で判定した。

- A: 大幅に達成している(目標を上回る成果があがっている)
- B: 達成している(概ね目標どおり達成している)
- C: 達成していない(目標を下回る成果しかあがっていない)

2. 効率性

「事務事業をよりよく進める余地はあるか」という視点で事務事業を分析し、以下の基準で判定した。

- A: 高い(改善の余地はほとんどない)
- B: 普通(改善の余地は少ない)
- C: 低い(改善の余地は大きい)

3. 有効性

「施策の目的成果に貢献している事業か」「事業は順調に進捗しているか」「成果は得られているか」「サービス水準は適切か」という4つの視点で事務事業を分析し、以下の基準で判定した。

- A: 高い(視点について2つ以上「はい」となる場合)
- B: 普通(視点について1つだけ「はい」となる場合)
- C: 低い(視点について1つも「はい」とならない場合)